

9 電気設備 概要

引込概要	<p>電力引込 引込方法 ○ 架空 ● 地中 電 ○ 高圧引込 (6 KV) ○ 低圧引込 (KV) 契約種別 ● 業務用電力 ○ 高圧電力 ○ 従量電灯 ○ 低圧電力 ケーブル ○ CVT 22 mm² (PE70) ○ 予備管 (PE104) × 引込保護 ○ PA ○ UG</p> <p>電話引込 引込方法 ● 架空 ○ 地中 配管 PE28 × 局線数 MD 局</p>
受変電設備	<p>形 ● 屋内型 ○ 屋外型 ○ 借室 ○ パットマウント 主要機器 変圧器 ● 油入 ○ モールド(乾式) ○ モールド(SF6) 遮断機 ● 真空 ○ 油 ○ その他() 力率改善 自動力率制御 ○ あり ● なし コンデンサ ● 高圧側 ○ 低圧側 直流電源装置 ○ 鉛蓄電池 AH ○ なし</p>
分電盤	設置場所
動力制御盤	設置場所
非常照明器具	● 蓄電池内蔵型 ○ 蓄電池別置型 ○ なし
自家発電設備	<p>電圧 ○ 低圧 ○ 高圧 出力 KVA ○ なし 始動方式 ○ 電気式 ○ 空気式 冷却方式 ○ 水冷放水式 (冷却槽 ○ あり ○ なし 容量 L) ○ 空冷ラジエータ方式 燃料種別 ○ 軽油 ○ 灯油 ○ 特A重 燃料小出槽 L 主燃料槽 ○ あり (L) ○ なし 運転可能時間 H 冷却水槽 ○ あり m³ (地下ピット) ○ なし</p>
放送設備	<p>種別 ○ 非常放送 ● 一般放送 設置場所 非常放送 一般放送</p>
電話設備	<p>交換機形式 ○ PB ○ 電子ボタン電話 設置場所 端子盤 設置場所 インターホン ○ 外部連絡用 ○ 身体障害者用 ○ 内部用 ○ その他()</p>
表示設備	<p>種別 ○ 出退表示 ○ 故障表示 ○ その他() 設置場所</p>
時計設備	親時計設置場所 ○ なし
テレビ共同受信設備	ブースター設置場所
火災報知設備	<p>受信機 ● P型 回線 ○ R型 回線 ○ GR型 回線 設置場所 1階管理室 副受信機 ○ あり(設置場) ○ なし 連動制御 ○ あり ○ 複合盤 ○ 単独) ○ なし</p>
機械警備	方式 ○ 自営 ○ 委託 ○ 警報のみ委託

注) ●が該当項目

10 電気設備の実態調査表

電 気 設 備		点 検 内 容	判 定	状 況	写 真 番 号
受 変 電 設 備	機 器	真空遮断器の状態	2	経年劣化有	11
		変圧器油漏れ、温度上昇	2	経年劣化有	なし（目視確認）
		コンデンサーの変形、温度上昇	2	経年劣化有	
		雨水の浸入	2	経年劣化有	
		各機器の振動、変色、異臭	3	ピラーボックス区分開閉器が旧型	12
		電線の振動、変色、異臭	2	経年劣化有	なし（目視確認）
		扉の開閉、施錠の具合	3	外部側の扉が開かない	なし（動作確認）
		機器の動作	2	経年劣化有	なし（目視確認）
	付属計器類	計器類の指針の動作	3	切替スイッチ類が一部動作し難い	
保護継電器類	計器類の指針の状態	2	経年劣化あり		
電 灯 動 力 設 備	電 灯 ・ 動 力 用 機 器	制御盤の発錆、腐食	2	経年劣化有	
		電線管・ボックスの発錆	2	地下：電線管腐食有	9
		動力盤の発錆、振動、発熱、異臭	2	内部：経年劣化有	3
			2	外部：箱内部の腐食有	10
		分電盤の発錆、振動、発熱、異臭	2	分電盤の鍵破損有	2
			2	電灯分電盤：経年劣化有	4, 5, 6
		電磁開閉器のうなり	—		
		各機器の固定状況	2	地下：電線管脱落有	9
			2	体育館：照明落下対策	7
		照明器具の発錆、腐食	3	廊下：経年劣化有	1
	動力盤の環境	2	外部設置状況有	10	
幹 線	ケーブルの発熱、振動、変色	2	経年劣化有		
建 築 防 災 設 備	非 常 用 照 明 ・ 誘 導 灯 設 備	非常用照明・誘導灯の状態	2	経年劣化有	なし（目視確認）
		内蔵蓄電池の状態	2	経年劣化有	
	防 火 戸 ・ 防 煙 ダ ン パ ー 等	消防設備点検報告書	—		
避 雷 設 備	外観発錆の有無	—			
構 内 配 電 経 路	保安協会点検報告書	1	特に問題無	なし（目視確認）	

判定欄の記号は評価判定基準参照

電 気 設 備	点 検 内 容	判 定	状 況	写 真 番 号
電 話 設 備	電話機動作			
	電話機聞き取り	1	特に異常無	なし（電話確認）
放 送 設 備	非常放送アンプ等外観劣化	—		
	非常放送設備の聞き取り	—		
	内蔵蓄電池の状態	—		
	放送設備の外観劣化	—		
時 計 設 備	親時計外観劣化	—		
	子時計外観劣化	—		
自 動 火 災 報 知 設 備	受信機の外観劣化	—		
	内蔵蓄電池の状態	—		
	感知器の外観劣化	—		
	消防設備点検報告書	—		
ガス漏れ警報設備	外観目視	1	特に異常無	なし（目視確認）
イン ター ホン 設 備	インターホン動作	—		
	インターホン聞き取り	—		
テ レ ビ 共 聴 設 備	聞き取り			
	アンテナの外観劣化	2	VHFアンテナは不要	8
監 視 カ メ ラ 設 備	モニターの状態	—		
	カメラの状態	—		
地 中 線 路	保安協会報告書	1	特に問題無	なし（資料確認）
外 灯	外観劣化	1	特に異常無	なし（目視確認）

判定欄の記号は評価判定基準参照

11 電気設備 写真報告書

	写真番号 1
	設備 電灯動力設備
	部分 照明器具（廊下）
	判定 3 状況 当該照明器具（蛍光灯）は、約40年程度経過していると思われる。内部の劣化が懸念される。安定器の交換がなされていない場合は、PCB含有の可能性もある。
	写真番号 2
	設備 電灯動力設備
	部分 分電盤（1階廊下）
	判定 2 状況 分電盤の鍵破損のため扉が開きにくい。
	写真番号 3
	設備 電灯動力設備
	部分 動力盤（1階廊下）
	判定 2 状況 動力盤（排水ポンプ開閉器盤）のブレーカーが経年劣化で焼付け又は短絡などの恐れ有。

	写真番号 4
	設備 電灯動力設備
	部分 電灯分電盤 (1階廊下)
	判定 2
	状況 ブレーカーが経年劣化で焼付け又は短絡などの恐れ有。 又、ニュートラル端子は閉め付けが緩みやすいので、締め付け不良による焼付けの恐れ有。
	写真番号 5
	設備 電灯動力設備
	部分 電灯分電盤 (2階廊下)
	判定 2
	状況 ブレーカーが経年劣化で焼付け又は短絡などの恐れ有。 又、ニュートラル端子は閉め付けが緩みやすいので、締め付け不良による焼付けの恐れ有。
	写真番号 6
	設備 電灯動力設備
	部分 電灯分電盤 (3階廊下)
	判定 2
	状況 ブレーカーが経年劣化で焼付け又は短絡などの恐れ有。 又、ニュートラル端子は閉め付けが緩みやすいので、締め付け不良による焼付けの恐れ有。



写真番号	7
設備	電灯動力設備
部分	照明器具（体育館）
判定	2
状況	高所にあるため、落下防止（落下防止ワイヤー掛等）対策が望ましい。



写真番号	8
設備	テレビ共聴設備
対象物	アンテナ（屋上）
判定	2
状況	地上デジタル化後なので、VHFアンテナは不要と思われる。



写真番号	9
設備	電灯動力設備
部分	電線管（地下倉庫）
判定	2
状況	電線管の脱落及び腐食が目立つ。

	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>電灯動力設備</td> </tr> <tr> <td>部分</td> <td>動力盤（外部）</td> </tr> <tr> <td>判定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>動力盤（空調機用開閉器盤）の箱体内部（下部）に腐食が目立つ。</td> </tr> </table>	写真番号	10	設備	電灯動力設備	部分	動力盤（外部）	判定	2	状況	動力盤（空調機用開閉器盤）の箱体内部（下部）に腐食が目立つ。
写真番号	10										
設備	電灯動力設備										
部分	動力盤（外部）										
判定	2										
状況	動力盤（空調機用開閉器盤）の箱体内部（下部）に腐食が目立つ。										
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>受変電設備</td> </tr> <tr> <td>部分</td> <td>真空遮断器（電気室）</td> </tr> <tr> <td>判定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>真空遮断器（高圧主遮断器）は1982年製のため、経年による不具合がおきやすくなる時期にある。（更新時期は一般に20年） 高圧機器類と共に交換を推奨する。</td> </tr> </table>	写真番号	11	設備	受変電設備	部分	真空遮断器（電気室）	判定	2	状況	真空遮断器（高圧主遮断器）は1982年製のため、経年による不具合がおきやすくなる時期にある。（更新時期は一般に20年） 高圧機器類と共に交換を推奨する。
写真番号	11										
設備	受変電設備										
部分	真空遮断器（電気室）										
判定	2										
状況	真空遮断器（高圧主遮断器）は1982年製のため、経年による不具合がおきやすくなる時期にある。（更新時期は一般に20年） 高圧機器類と共に交換を推奨する。										
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>受変電設備</td> </tr> <tr> <td>部分</td> <td>高圧引込用ピラーボックス</td> </tr> <tr> <td>判定</td> <td>2、3</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>高圧引込用のピラーボックス内区分開閉器が、旧型のジスコンとなっており、このスイッチは絶縁低下などによる事故が起こり易い。 UGSに交換することが望ましい。</td> </tr> </table>	写真番号	12	設備	受変電設備	部分	高圧引込用ピラーボックス	判定	2、3	状況	高圧引込用のピラーボックス内区分開閉器が、旧型のジスコンとなっており、このスイッチは絶縁低下などによる事故が起こり易い。 UGSに交換することが望ましい。
写真番号	12										
設備	受変電設備										
部分	高圧引込用ピラーボックス										
判定	2、3										
状況	高圧引込用のピラーボックス内区分開閉器が、旧型のジスコンとなっており、このスイッチは絶縁低下などによる事故が起こり易い。 UGSに交換することが望ましい。										

13 機械設備 概要（空調）

空調設備	<p>方式 <input type="radio"/> 中央方式 <input checked="" type="radio"/> 個別方式</p> <p>熱源方式 <input type="radio"/> 冷温水発生機 <input type="radio"/> ヒートポンプチラー <input type="radio"/> 冷凍機・ボイラー <input type="radio"/> その他</p> <p>空調方式 <input type="radio"/> 全空気方式 (<input type="radio"/> CAV方式 <input type="radio"/> VAV方式) <input type="radio"/> ファンコイル・ダクト方式 <input type="radio"/> ビル用マルチ方式 <input checked="" type="radio"/> 個別空調 (<input checked="" type="radio"/> EHP <input type="radio"/> GHP) () <input type="radio"/> 冷却塔水处理装置 (レジオネラ菌対策 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) <input type="radio"/> その他 ()</p> <p>外気処理方式 <input type="radio"/> 外気調和機 <input type="radio"/> 全熱交換機 (大型) <input checked="" type="radio"/> 空調換気扇 (小型全熱交換機)</p> <p>空気清浄装置 <input type="radio"/> 電気集塵器 <input type="radio"/> 折り込み形 <input type="radio"/> パネル形 <input type="radio"/> 自動巻取形</p> <p>加湿方式 <input type="radio"/> 蒸気式 (<input type="radio"/> ボイラー <input type="radio"/> 電気ヒーター) <input type="radio"/> 超音波式 <input type="radio"/> スプレー式 <input type="radio"/> 滴下式 <input type="radio"/> 気化式 <input type="radio"/> その他</p>
換気設備	<p>第一種換気 <input checked="" type="radio"/> 各階 (事務室・研究室) ()</p> <p>第二種換気 <input type="radio"/> () ()</p> <p>第三種換気 <input type="radio"/> () ()</p>
排煙設備	<p><input type="radio"/> 機械排煙 <input type="radio"/> () ()</p> <p><input type="radio"/> 自然排煙</p>
自動制御設備	<p>制御方式 <input type="radio"/> 電気式 <input type="radio"/> 電子式 <input type="radio"/> 空気式 <input type="radio"/> デジタル式 <input type="radio"/> 中央監視制御装置 監視点数 (128) <input type="radio"/> 集中コントローラー</p> <p>主な監視制御機能 <input type="radio"/> 熱源 <input type="radio"/> 冷却塔 <input type="radio"/> 空調機 <input type="radio"/> FCU <input type="radio"/> ファン</p>
床暖房設備	<p>方式 <input type="radio"/> 温水式 (<input type="radio"/> ボイラー <input type="radio"/> 給湯器) <input type="radio"/> 電気式 (<input type="radio"/> 商用電力 <input type="radio"/> 深夜電力)</p> <p>放熱方式 <input type="radio"/> 配管 <input type="radio"/> パネル ()</p>
太陽熱利用設備	<p>集熱器方式 <input type="radio"/> 平板形 <input type="radio"/> ガラス管形 集熱面積 m²</p> <p>利用用途 <input type="radio"/> 暖房 <input type="radio"/> 給湯 <input type="radio"/> 補給水加熱 (全体利用)</p>
脱臭設備	<p>方式 <input type="radio"/> オゾン <input type="radio"/> 活性炭 <input type="radio"/> 腐植質 <input type="radio"/> 空気清浄機</p> <p>用途 <input type="radio"/> 体臭 <input type="radio"/> 便所臭気 <input type="radio"/> 線香臭気 <input type="radio"/> ゴミ臭気</p>
その他特殊設備	<p><input type="radio"/> 体育館空調設備 <input type="radio"/> プール空調設備 <input type="radio"/> 給食室・調理室・厨房冷暖房設備</p>

注) ●が該当項目

14 機械設備の実態調査表

機械設備		点検内容	判定	状況	写真番号
高置水槽	本体	腐食・亀裂の有無	1	外観上異常無 (内部確認できず)	1~3
	内部	腐食の有無			
	架台	腐食の有無	1	外観上異常無(鉄骨架台)	5
	基礎	亀裂・破損の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	3	一部腐食有	4, 5
給湯用 補給水槽	本体	腐食・亀裂の有無	—		
	内部	腐食の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		
	基礎	亀裂・破損の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
消火用 補助水槽	本体	腐食・亀裂の有無	—		
	内部	腐食の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		
	基礎	亀裂・破損の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
膨張水槽	本体	腐食・亀裂の有無	—		
	内部	腐食の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		
	基礎	亀裂・破損の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
冷却塔	本体	腐食・亀裂の有無	—		
	ファン	腐食・緩みの有無	—		
	モーター	腐食の有無	—		
	充填材	汚れ等の有無	—		
	水槽	腐食・亀裂の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
薬液注入装置	本体	腐食・亀裂の有無	—		
	モーター	腐食・劣化の有無	—		
	薬液槽	腐食・亀裂の有無	—		
加圧給水装置	外板	腐食・亀裂の有無	—		
	本体	腐食・破損の有無	—		
	モーター	腐食・劣化の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
冷暖房用室外機	外板	腐食・亀裂の有無	—		
	配管類	腐食・ガス漏れの有無	—		
	架台等	腐食・破損の有無	—		
受水槽	本体	腐食・亀裂の有無	4	経年による汚れ有(苔発生) (内部確認できず)	7, 8
	内部	腐食の有無			
	架台	腐食の有無	4	補強材: 錆有、腐食有	8
	基礎	亀裂・破損の有無	1	特に異常無	9
	配管類	腐食・漏水の有無	1	特に異常無	9
給湯ホィー	外板	腐食・亀裂の有無	—		
	熱交換機	腐食・漏水の有無	—		
	バーナー	作動不良の有無	—		
	制御装置	部品等劣化の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		

判定欄の記号は評価判定基準参照

機械設備		点検内容	判定	状況	写真番号
貯湯槽	本体	腐食・亀裂の有無	—		
	内部	腐食の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
揚水ポンプ	本体	腐食の有無	—		
	モーター	腐食・異音の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
給水管	配管・継ぎ手	腐食・漏水の有無	5	錆有・内部の腐食が想定される	6, 15, 16
	弁類	腐食・漏水の有無	—		
	保温	漏水・漏水跡の有無	—		
給湯管	配管・継ぎ手	腐食・漏水の有無	—		
	弁類	腐食・漏水の有無	—		
	保温	漏水・漏水跡の有無	—		
排水ポンプ	本体	腐食・破損の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
排水管	配管・継ぎ手	腐食・漏水の有無	5	3階便所：腐食有	なし（目視確認）
	弁類	腐食・漏水の有無	—		
	保温	漏水・漏水跡の有無	—		
衛生器具					
大便器	本体	破損の有無	3	破損は無いが、旧式のため、節水等の機能面を改善するために、排水管と併せた改修が望ましい。	12, 14
	金物	作動不良の有無	3	破損は無いが、本体の付属品のため、併せて改修が望ましい。	12, 13, 14
小便器	本体	破損の有無	3	破損は無いが、旧式のため、節水等の機能面を改善するために、排水管と併せた改修が望ましい。	10
	金物	作動不良の有無	3	破損は無いが、本体の付属品のため、併せて改修が必要になる。	10
手洗い流し	本体	破損の有無	3	経年による劣化、汚れ有	11
	金物	作動不良の有無	3	経年による劣化、汚れ有	11
消火設備					
屋内消火栓設備		法的点検対象機器	—		
連結送水管設備		法的点検対象機器	—		
スプリンクラー設備		法的点検対象機器	—		
パッケージ型消火設備		法的点検対象機器	—		
動力消防ポンプ設備		法的点検対象機器	—		
連結散水設備		法的点検対象機器	—		
ダクト・フット消火設備		法的点検対象機器	—		
冷温水発生機	外板	腐食の有無	—		
	熱交換機	腐食・漏水の有無	—		
	バーナー	作動不良の有無	—		
	制御装置	部品等劣化の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		
熱源ボイラー	外板	腐食の有無	—		
	熱交換機	腐食・漏水の有無	—		
	バーナー	作動不良の有無	—		
	制御装置	部品等劣化の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		
空気調和機	外板	腐食の有無	—		
	モーター	腐食・劣化の有無	—		
	内部	腐食の有無	—		
	ドレンパン	腐食の有無	—		
	加湿器	作動不良の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		
	架台	腐食の有無	—		
パッケージ型空調機	本体	腐食・破損の有無	—		
	ドレンパン	腐食・漏水の有無	—		
	配管類	腐食・漏水の有無	—		

判定欄の記号は評価判定基準参照

機械設備	点検内容	判定	状況	写真番号
ファンコイルユニット	本体	腐食・破損の有無	—	
	ドレンパン	腐食・漏水の有無	—	
	配管類	腐食・漏水の有無	—	
空気清浄機	本体	腐食・破損の有無	—	
	集塵装置	破損の有無	—	
空調換気扇	フェース	腐食・破損の有無	—	
	エレメント	破損の有無	—	
冷却水 冷温水 ポンプ	本体	腐食・破損の有無	—	
	モーター	振動・異音の有無	—	
	架台	腐食の有無	—	
	配管類	腐食・漏水の有無	—	
送風機 排風機	本体	腐食・破損の有無	—	
	モーター	振動・異音の有無	—	
	架台	腐食の有無	—	
ダクト類	ダクト	腐食・破損の有無	—	
	ダンパー	腐食・破損の有無	—	
	保温	破損・カビの有無	—	
ガラリ・ 制気口類	排気ガラリ	腐食・破損・汚れの有無	—	
	外気取入チャンパー	腐食・破損・汚れの有無	—	
	外気取入ガラリ	腐食・破損・汚れの有無	—	
	機械室制気口	腐食・破損・汚れの有無	—	
自動制御	制御盤	作動不良・老朽化の有無	—	
	インバータ盤等	作動不良・老朽化の有無	—	
屋外排水 污水枡	蓋	腐食・破損の有無	—	
	枠	腐食・破損の有無	—	
雑排水枡	内部	破損の有無	—	
雨水枡	インバル	破損・汚物滞留の有無	—	
自動散水	水槽	腐食・亀裂の有無	—	
	ポンプ	腐食・破損の有無	—	
	散水装置	腐食・破損の有無	—	
換気扇	本体	腐食・破損の有無	—	
天井扇	本体	腐食・破損の有無	—	
濾過器	本体	腐食の有無	—	
	モーター	腐食・異音の有無	—	
	架台	腐食の有無	—	
	配管類	腐食・漏水の有無	—	

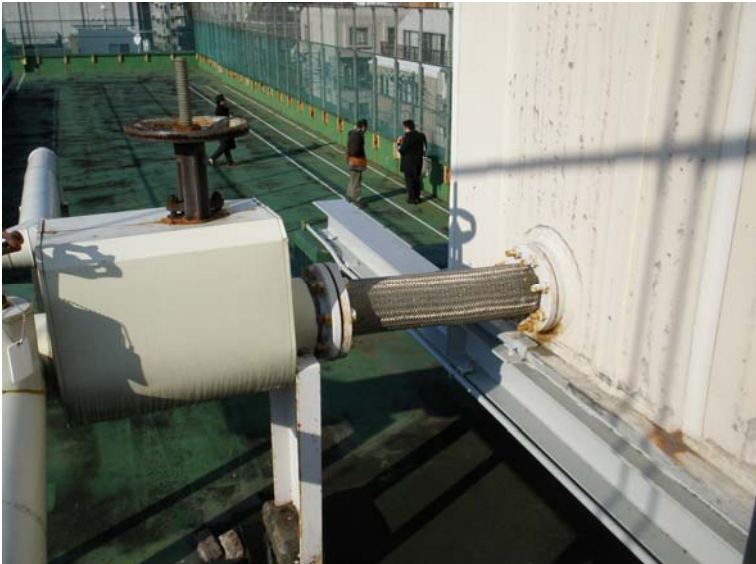
判定欄の記号は評価判定基準参照

15 機械設備 写真報告書

	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>高置水槽</td> </tr> <tr> <td>部分</td> <td>本体</td> </tr> <tr> <td>判定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>破損等無し 現在未使用のため作動状況不明 外観上異常無</td> </tr> </table>	写真番号	1	設備	高置水槽	部分	本体	判定	1	状況	破損等無し 現在未使用のため作動状況不明 外観上異常無
写真番号	1										
設備	高置水槽										
部分	本体										
判定	1										
状況	破損等無し 現在未使用のため作動状況不明 外観上異常無										
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>高置水槽</td> </tr> <tr> <td>部分</td> <td>本体</td> </tr> <tr> <td>判定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>外観上異常無</td> </tr> </table>	写真番号	2	設備	高置水槽	部分	本体	判定	1	状況	外観上異常無
写真番号	2										
設備	高置水槽										
部分	本体										
判定	1										
状況	外観上異常無										
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>設備</td> <td>高置水槽</td> </tr> <tr> <td>部分</td> <td>本体</td> </tr> <tr> <td>判定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>外観上異常無</td> </tr> </table>	写真番号	3	設備	高置水槽	部分	本体	判定	1	状況	外観上異常無
写真番号	3										
設備	高置水槽										
部分	本体										
判定	1										
状況	外観上異常無										



写真番号	4
設備	高置水槽
部分	配管類
判定	3
状況	揚水管フレキ：腐食有



写真番号	5
設備	高置水槽
部分	架台、配管類
判定	1、3
状況	鉄骨架台上に設置（床+500H）、外観上異常無、給水弁廻り腐食有



写真番号	6
設備	給水管（東側屋上：流し）
部分	配管・継ぎ手
判定	5
状況	給水管：錆有・内部の腐食が想定される。



写真番号	7
設備	受水槽
部分	本体
判定	4
状況	経年による汚れ有 (苔発生)



写真番号	8
設備	受水槽
部分	本体、架台
判定	4
状況	経年による汚れ有 (苔発生) 補強材: 錆有、腐食有



写真番号	9
設備	受水槽
部分	基礎、配管類
判定	1
状況	基礎・配管類に異常無



写真番号	10
設備	小便器 (3階: 便所)
部分	本体、金物
判定	3
状況	<p>本体：破損は無いが、旧式のため、節水等の機能面を改善するために、排水管と併せた改修が望ましい。</p> <p>金物：破損は無いが、本体の付属品のため、併せて改修が望ましい。</p>



写真番号	11
設備	手洗い流し (3階: 便所)
部分	本体、金物
判定	3
状況	経年による劣化、汚れ有



写真番号	12
設備	大便器 (3階: 便所)
部分	本体、金物
判定	3
状況	<p>本体：破損は無いが、旧式のため、節水等の機能面を改善するために、排水管と併せた改修が望ましい。</p> <p>金物：破損は無いが、本体の付属品のため、併せて改修が望ましい。</p>



写真番号	13
設備	大便器 (3階: 便所)
部分	金物
判定	3
状況	破損は無いが、本体の付属品のため、併せて改修が望ましい。



写真番号	14
設備	大便器 (3階: 便所)
部分	本体、金物
判定	3
状況	本体：破損は無いが、旧式のため、節水等の機能面を改善するために、排水管と併せた改修が望ましい。 金物：破損は無いが、本体の付属品のため、併せて改修が望ましい。



写真番号	15
設備	給水管 (校庭: 流し)
部分	配管・継ぎ手
判定	5
状況	給水管：錆有・内部の腐食が想定される。



写真番号	16
設備	給水管（校庭：流し）
部分	配管・継ぎ手
判定	5
状況	給水管：鑄有・内部の腐食が想定される。

16 評価判定基準

- 5 : 改修の時期が到来しており、早期の実施が必要な状態。
- 4 : 改修の時期は目前に迫っており、早期の計画及び実施が必要な状態。
- 3 : 経年等による劣化が見られ、改修の計画及び実施が望まれる状態。
- 2 : 経年等による劣化は見られるが、比較的良好な状態。
- 1 : 劣化がほとんどない状態。
- : 調査該当部分なし
(現在の借受者による改修のため調査対象外としたものを含む)